

## いよいよ受験生。残りは200日

7月中旬に出された「夏休みの宿題(課題)」はそろそろ終わりに近づいたでしょうか? 課題の提出状況は通知表数値に影響しますので、5教科の課題がとりあえず終わった人は、再度自己点検をしていきましょう。「ていねいに書いているか」「抜け落ちページはないか」などを見ていくだけでも9月初旬の課題テスト勉強にもなります。

また自由研究や副教科の作品についても「しっかり仕上げて提出」すれば良い評価につながることは間違いありません。特に受験生は今こそ第1志望校合格に必要な2学期の通知表数値を定め、周りの生徒の夏休みボケが抜け切らない2学期初日に「夏休み課題完全提出」という先制パンチを浴びせて、明暗を分ける勝負の2学期で幸先良いスタートを切りましょう。入試当日まで残り200日です。  
〔野垣勝彦〕

### 8、9月のおもなスケジュール

8/26 ~28		絶対合格36合宿〔中3〕
29・30		特進館アカデミー
31	金	夏期公開テスト〔小4~中2〕
9/1	土	自習室開室(14:00~22:00)
2	日	中3公開テスト〔会場受験〕
3	月	2学期授業開始
8	土	中3入試突破ゼミ〔月3回〕
9	日	自習室開室(12:00~18:00)
16	日	〔休室〕
17	月	敬老の日〔休室〕
22	土	中3入試突破ゼミ〔月3回〕
23	日	自習室開室(12:00~18:00)
24	月	振替休日〔授業あり〕
29	土	中3保護者会(13:00~14:30) 中3入試突破ゼミ〔月3回〕
30	日	ワークGARIBEN 中3特進館公開テスト〔会場受験〕

## 読書感想文とは

夏休みと言えば読書感想文。みなさんは読書感想文の題材をどのように選んでいますか? なんだか知らないけれども、物語や小説でないといけないと思いませんか?

読書というといふそのような本を思い浮かべますが、国語を教えている立場からすると、読書とは「新書を読むこと」なのです。小説を読むことを否定するわけではないですが、小説を読んで「読書をした」と言われると少しムズムズしてきます。私にとって読書とは「新たな知に触れること」なのです。

読書感想文の話に戻すと、「新たに得た知」に対する感想を書くというのが読書感想文のスタイルとして最も良いと思うのですが、それだといけないのでしょうか。〔金子祐太〕

一人ひとりに合わせた  
個別指導とドリル学習!

**のびのびじゃん!**  
学習教室

大好評大盛況につき、9月より曜日拡大!! キッズたちが未来の志望校を目指してキラキラと輝いています!!

今月の「自習王」決定! (7月)

- ☆中学生の部  
中3 高本 桜 161時間
- ☆高校生の部  
高3 武田 悠希 134時間

9月分の  
学費振替  
8月(月)  
27日

9月より実施されます入試突破ゼミを受講される中3生の方は、教材費を授業料と合算させていただきます。ご案内も同封しております。ご案内も同封しております。この際もご確認ください。

## “略奪”の起こらない国

阪神淡路大震災から23年の歳月が流れ、東日本大震災が発生して早くも7年半が経過しました。また、ご承知のように先日の西日本豪雨では、平穏な町々が極めて甚大な被害に見舞われ、あらためて自然災害の恐ろしさを認識されたのではないのでしょうか。

このような大災害では、道路や鉄道などの交通網が麻痺し、電気・ガス・水道などのライフラインが断たれ、緊急自動車のサイレンが鳴り響く極限状態です。そんな中で、私がいつも心に感じることがあります。それは、日本ではほとんど“略奪”が起こらないこと。最悪の状況下でもお互いの“絆”を深め、秩序をしっかりと保ち、協力して助け合う。決して「自分さえ良ければ」などという行動は生まれません。他国では、必ずと言っていいほど多くの犯罪が発生するのに…。これを、「日本人は温厚だから」などと、一言で片付けてしまうのはよくないと思います。このような秩序と思いやりのある温かい文化こそ、日本古来の“教育”によって培われたものであると考えるべきなのです。

“ものづくり”が日本の強みと言われてきましたが、これからは“人づくり”、つまり“教育”こそ、この国を輝かしい発展に導く、最大のキーワードであると、私たちは確信しています。〔北村昌弘〕



代表北村の独り言…

毎年、夏期講習の時期に気になるのが、部活をがんばる中3生が、受験勉強との両立に苦しむ姿。特に吹奏楽部の生徒は11月まで本当に大変です。でも言えることは、ここを乗り越えた生徒は、毎年必ず上位の志望校に合格するんです! 負けるな! 特進館っ子受験生!!

## 編集後記

暑い暑いと思っていた今年の夏ですが、お盆あたりから朝晩の空気が秋めいてきたように感じます。ただ、日中はまだまだ夏の陽射しで、紫外線の強さも継続中です。お医者さんいわく、この夏は日焼けを通り越した軽症やけどや、光線アレルギーを引き起こすケースも多いとのこと。季節は秋に向かって、紫外線が強い時期はもうしばらく続きます。女性は日頃から紫外線対策に万全なことが多いのですが、今年は子どもも男性も日焼け止めクリーム等を活用し、肌を守る必要があるようです。